

議会

No.206



自然劇場

議会に対するご意見
をお聞かせください。

お電話の場合

☎ 82-3111(内線150番)

E-mailの場合

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

年頭のご挨拶



木島平村議会議長

森 正 仁



明けましておめでとうございます。

村民の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎える
のことと、心からお喜び申し上げます。

日頃から議会活動に対しまして、深いご理解と温かい
ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私ども議員は、三年前の四月に選出させていただいてから
間もなく四年任期の最後の一年を迎えようとしています。

議会が持つ二つの使命であります「具体的な政策の最
終決定」と「行財政運営の監視」を達成できるよう、議
員一同、村民の皆様方の付託と信頼に応えるべく、日々精
進しております。

また、現状の手法等において改めるべき点があれば
改め、足りない点があれば補うことを目的に、議会
改革の検討に取り組んでおり、その結果をもとに、
できるものから一つずつ実施しております。

北陸新幹線飯山駅開業から間もなく三年が過ぎようと
していますが、高速交通網が整い、更に村内を通る県
道や国道の改良も進み、村外から村内へ入る道路状況が
格段に向上してきております。

私たち議員も気持ち新たに、議員全員が丸となって、
住みよい村づくりのために真剣に取り組んでまい
る所存であります。

また、併せて村民の皆様に一層のご支援とご協力を
心からお願い申し上げます。

終わりに、平成三十年が木島平村にとりましても、
村民の皆様方にとりましても、ご健勝で実り多き良
年となりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつ
とさせていただきます。



平成29年12月 第4回 定例会

上程 24 議案を審議

11月30日から12月15日まで

平成29年12月第4回定例会は、11月30日から12月15日まで16日間の会期で開かれ、承認案1件、条例案9件、補正予算案12件、事件案1件、同意案1件の合計24件の議案を審議しました。

なお、審議結果表については、全ての議案が全会一致で可決、採択されたため、掲載を省略します。

承認案件

1件

■一般会計補正予算(第6号)の

専決処分

歳入・歳出に249万円を追加し、総額を34億877万7千円とする。

内容

10月22日・23日に発生した台風21号の豪雨災害関連に係る経費。

歳入

・内山地区の農地災害復旧設計委託料の地元分担金、戸那子排水機場関係で飯山市の分担金、地方交付税。

歳出

・戸那子排水機場の水門改修設計委託料、内山地区の農地災害復旧のための設計委託料、和栗沖等で農地の冠水により堆積した稲わらや、戸那子排水機場内の稲わら除去の補助金等。

平成29年12月 第4回定例会のあらまし

▼開会日(11月30日)

会期の決定、村長からの諸般の報告及び行政報告の後、平成29年度一般会計補正予算など15議案が上程されました。

提案理由の説明、質疑等を経て、所管の常任委員会に付託されました。

▼予算決算常任委員会(12月5日・6日)

平成29年度補正予算、事業の進捗状況について、各課から説明を受け、質疑、審議等を行いました。

▼一般質問(12月12日)

6人の議員が、村政のさまざまな課題について質問を行いました。(各議員の質問項目は26ページ)

▼常任委員会(12月14日)

付託された条例等を各常任委員会に審議しました。

▼全員協議会(11月30日・12月15日)

村からの説明、報告及び質疑、また議員間での報告・協議等を行いました。

▼閉会日・採決(12月15日)

各常任委員長から委員会審査の報告を行い、議案はすべて、全会一致で原案通り可決となりました。(主な内容は本文参照)

条例案件

6件

■特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

平成27年の「農業委員会等に関する法律」の改正に伴い、次回の農業委員の改選から新たに設置される「農地利用最適化推進委員」の報酬を追加した。なお、この報酬とは別に、農業委員会長、会長代理、委員及び最適化推進委員には、その実績に応じて国の農地利用最適化交付金の範囲で別途報酬を支給できるとされた。

■職員等の育児休業等に関する条例の一部改正

雇用保険法等の一部改正による条文の整理のほか、非常勤職員の子が、保育所に入れないこと等を理由に、やむなく離職するなど、雇用継続に支障が出る事態を防ぐため、原則1歳までの育児休業を、6か月延長し、それでも保育所に入れない場合等に限り、更に6か月延長できるとするもの。

■農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定

平成27年の「農業委員会等に関する法律」の改正に伴い、次回改選からの農業委員の定数を定める条例を制定した。

- ・農業委員 10人
- ・農地利用最適化推進委員 8人

■高社山麓観光施設条例の一部改正

新たに建設された高社山展望台「高社山テラス」と、ジュニアサッカークラブの「クラブハウス」を加え、条項と文言の整理を行った。

■地域優良賃貸住宅管理条例の一部改正

西小路地区に建設した住宅を追加するもの。

■特別職の職員等の給与の特例に関する条例の一部改正

村長、副村長の給与を20%削減するもの(平成30年1月～3月)。

次の3つの条例は、人事院勧告に基づき改正したもの。

■議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

■特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正

■一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

予算案件 12件

■一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出に約1975万円を減額し、総額を33億8902万8千円とする。

※千円以下四捨五入

- ・農業担い手育成支援事業費を減額。(▲126万円)
- ・農業振興公社運営費や有機センター管理委託料を増額。(632万円)

・国土調査事業の補助金確定による事業費の減額。(▲684万円)

・スキー場リフト工事の精算による観光特別会計への繰入金の減額。(▲1768万円)

各事業における国県補助金等の確定に伴い、繰入金を調整。(▲1275万円)

■情報通信特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出に37万円を減額し、総額を3億9051万6千円とする。

内容

- ・宅内音声告知端末修繕費の増額。(65万円)
- ・情報通信施設整備事業工事了完了に伴う保守費の減額。(▲57万円)

歳入

・リース料の精算による減額。(▲47万円)

■後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出に6万円を追加し、総額を5488万円とする。

内容

・県後期高齢者医療広域連合が、事務機器の使用期限を1年延長することに伴い、村の接続に必要な既存システムの保守作業も延長するため。

歳入

一般会計繰入金。

■国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出に2578万3千円を減額し、総額を6億5720万円とする。

内容

- ・保険給付費給付の減額。(▲1612万円)
- ・共同事業拠出金の減額。(▲1000万円)等

これまでの実績から年度末までの推計に基づく補正。

歳入

前期高齢者交付金、共同事業交付金、一般会計繰入金を減額、国民健康保険基金繰入金を減額して調整。

■介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出に166万9千円を追加し、総額を5億9941万6千円とする。

内容

- ・介護保険制度改正に伴うシステム改修費の増額。(215万円)
- ・介護認定審査会共同設置負担金の減額。(▲50万円)

歳入

一般会計繰入金。(169万円)等

■観光施設特別会計補正予算(第3号)

歳入・歳出に1776万7千円を減額し、総額を1億1514万7千円とする。

内容

- ・リフト修繕費の精算により、一般会計繰入金を減額。
- ・第7リフト解体撤去の関係者との協議で、結論が10月に出たため、冬期は、工事施工が

できないと判断し、工事費を
次年度に繰り越す。
(1728万円)

■下水道事業特別会計補正予算
(第2号)

歳入・歳出に128万2千円を
追加し、総額を3億5610万6千円
とする。

内容

・消費税中間申告に係る納税
予定額増を見込み増額。

歳入

一般会計繰入金。

■水道事業会計補正予算(第3号)

歳入・歳出に14万5千円を追
加する。

内容

・賃金、滅菌用薬品費、職員
人件費。

次の4つの補正予算は、人事院勧
告に基づき人件費を増額したもの。

■一般会計補正予算(第8号)

(363万円)

■国民健康保険特別会計補正予算

(第4号)

(4万6千円)

■介護保険特別会計補正予算

(第4号)

(9万3千円)

■水道事業会計補正予算(第4号)

(10万8千円)

事件案件

1件

■村道路線の認定

国道403号の路線が「おちあい
橋」竣工に伴い変更となったため、
旧道を村道とするもの。

内容

- ・認定路線名 村道776号線
- ・起点 木島平村大字上木島字
糠平4498番地3先
- ・終点 木島平村大字上木島字
糠平4483番地先
- ・延長 175m
- ・幅員 4mから6.6m

同意案件

1件

■教育長の任命につき同意を求める

- ・氏名 小林 弘氏(中町)

議会全員協議会

12月定例会の開催中、村と
議会及び議員間で様々な案件に
ついて協議等を行いました。
主な項目は、次のとおりです。

11月30日(木)

【村長提出案件】

①実施計画、財政計画

平成30年度から34年度までの
5年間の計画の説明。

②道の駅ファームス木島平の
運営の考え方

現指定管理者による指定管理期
間終了後、平成30年4月以降は当
面、村直営で運営したい旨の説明。

③除雪計画

新庁舎基本設計概要(案)説
明会での質疑応答内容や意見・
提案の報告。

④役場新庁舎基本設計(案)に
対する意見と対応

【議員のみ】

①平成30年3月第1回議会
定例会の日程案

平成30年2月27日～3月14日
の予定。

②委員会審査報告に対して村長が
検討等をする回答した事項

平成28年3月からの審査意見
の中で、「検討する」と回答した
事項を再確認。

③議会だよりモニターについて

親しみやすい議会だよりを目指
し、今後、議会だよりモニターを新
設し募集する予定。そのために、他
市町村議会の取り組み状況を確認。

12月15日(金)

【村長提出案件】

追加議案の説明

人事院勧告に伴う条例改正、
補正予算及び教育長の選任に
ついての議案の説明。

【議員のみ】

①今後の日程について

②「消費者の会」からの議会一般
質問を傍聴しての感想の報告

お知らせ

●今後の議会の開会予定

・全員協議会 2月7日(水)

・3月定例会 2月27日(火)～
14日(水)

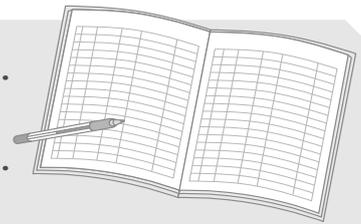
●請願・陳情の受付締切日

2月20日(火)

受付締切日は、議会開会日
1週間前となっています。提出に
際し、開催日等をご確認のうえ、
早めに議会事務局に提出してくだ
さい。

なお、直接、議会事務局にご
持参のうえ、事務局職員に説明
をお願いします。

審査意見(12月)



予算決算常任委員会

- 村税の滞納整理の努力は評価する。今後も公平性の確保に向け、さらなる徴収に努められたい。
- やまびこの丘公園内へ駐車場と進入路が新設され、入園料の無料化が検討されているが、事業計画時には、常に投資効果、整備の優先順位等を現場関係者とも十分協議し、調整を済ませた上で事業に着手されたい。
- 村長の太鼓判は、想定以上の収量を確保できたので、販路の拡大に努力をされたい。また、米コンクールでの受賞効果等で、木島平米の評価が高まっている一方、太鼓判のインパクトは薄れてきているので、実態を調査し、次年度以降の計画・戦略を検討されたい。
- そばの減収を要因として、農業振興公社への補助金の増額予算が計上された。遊休農地対策としての「そば振興」の有効性をしっかり検証し、村の負担を増やさないう、計画を再考されたい。
- 村有施設の老朽化による修繕費が年々増え、今後も増大が見込まれる。想定外の出費を抑制できるよう、適正な管理に努められたい。

各議員の一般質問の項目

12月12日、6人の議員が次の課題について質問しました。

◆江田 宏子 議員

- ①新庁舎の建設について
- ②「ファームス木島平」の今後の運営について
- ③「信州やまほいく(信州型自然保育)」の認定について
- ④過去の提案への対応・現状は

◆吉川 昭 議員

- ①観光客への案内表示などについて
- ②村(村民)の収入と税収について
- ③ファームス木島平の指定管理変更に伴う農村木島平(株)の対応について

◆勝山 卓 議員

- ①第2期指定管理に向けた農の拠点施設(道の駅ファームス木島平)の運営管理と産業ネットワーク協議会について
- ②通学路の交通安全対策、早期歩道設置を
- ③内部統制の取り組みについて

◆土屋 喜久夫 議員

- ①水田農業をどう進めるか
- ②観光施策はどのように進んでいるか
- ③役場庁舎の村民意見はどのように反映されるか

◆樋口 勝豊 議員

- ①国民健康保険について
- ②保育園、小・中学校にエアコンの設置を求める

◆萩原 由一 議員

- ①旧北部小学校プール跡地の活用について
- ②農村交流館でも役場窓口業務の一部を

質問・答弁の要旨は、
議会だより2月号に掲載いたします

審査意見(9月)に対する村の対応 (主旨抜粋)

9月議会定例会で各委員会から出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。
28～29ページに続きます。 (11月30日 本会議「諸般の報告」より)

予算決算常任委員会関係

- 災害時、ふう太ネット等も活用し、住民への情報が伝わるよう、平時から備えられたい。
対応 村内で災害が発生した場合、あるいは発生する恐れがある場合には、情報を速やかに伝えるよう、ふう太ネットの活用も含めて体制を整えていく。
- 大学連携については、過去の検証をし、有用なものについてはさらに発展されたい。
わせたいらについては、村民との交流が進んでおり、さらに進展されるよう支援されたい。
対応 各大学及びわせたいらと村との連携については、それぞれの内容を随時検証し、双方にメリットがある形での事業となるよう進めていく。
- 公式ウェブサイトについては、内容を再点検し、常に最新の情報を提供できるよう努力されたい。
対応 定期的に点検を行い、常に最新の情報を提供するよう努めていく。
- 協働の村づくり支援金については、必要に応じて事業が継続できるようなサポートをされたい。
対応 事業の内容が多く村民に関係するもので、その効果が期待できる事案については、協働の村づくり支援金とは別の支援を行うことも含めて継続できるよう、関係課と協議していく。
- 防犯カメラについては、設置場所を再点検し、関係機関と有効な場所を検討されたい。
対応 現在、村内7か所に防犯カメラを設置しているが、増設も含めて、設置場所、設置個所を関係機関とも協議していく。
- ふるさと応援団については、公式ウェブサイトへの掲載などあらゆる手段を講じて新規会員の勧誘に努められたい。
対応 村としては、情報発信により新規会員の勧誘に努めているが、村民の皆さまにも知人・友人に応援団をご紹介いただくよう協力を呼び掛けていく。
- 平成28年度、福寿苑の利用者がなかったが、各種福祉施策などニーズの掘り起こしをされたい。
対応 いきいき広場等の実施時に、参加者に要望等を聞きながらニーズの掘り起こしを進めていく。
- 高齢者通院助成制度が無くなったが、介助等が必要な弱者に対する通院等のサービスが低下しないよう配慮されたい。
対応 高齢者等の移動時に必要なサービスを、利用者に意見や要望を聞くなどして、配慮が欠けることのないよう、方法などについて検討を進めていく。

対する村の対応 (続き)

- 老人福祉バスの利用率が低下している。高齢者の外出支援に向け、利用の促進を図られたい。

対応 利用者に直接話を聞きながら、利用率の向上などの対策を進めていく。

- 国県道の改良期成同盟会については、将来の維持管理も見据え、継続に向け協議されたい。

対応 それぞれの期成同盟会において協議し、対応していく。

- 公営住宅は、実情に応じて家賃設定の弾力化を検討されたい。

対応 入居の申込み状況等を精査し、実情に応じて対応するよう検討する。

- 加速化交付金の事業については、その投資効果が見られない事業がある。今後の事業展開については実情を検証し、補助または委託先について慎重に選定されたい。

対応 将来企業の可能性がある事業について、試験調査や計画策定を行う内容の業務も含まれていたが、結果的に起業には繋がっていない事業もある。今後は、事業者や事業等を採択する段階で内容を精査し、慎重に対応するよう努めていく。

- 6次産業推進協議会に多額の補助をして、商品の研究開発がされたが、未だ商品として日の目を見ていない。早急に商品化を図られたい。

対応 今年度、商品開発を計画していたキノコのスイーツ・柿のスイーツは、原料調達の時期の関係で11月になって製品化した。今後、広報等でお知らせをするとともに販売を開始する予定。

- 大町倉庫の老朽化が著しい。倉庫内の民俗資料の活用や保管方法を早急に検討されたい。

対応 大町倉庫の解体と収蔵品の移転については、関係者と検討を進めているが、適当な保管先が選定できていない。今後も引き続き検討を進めていく。

総務産業常任委員会関係

- 各種事業推進に当たっては、補正がないよう計画的な予算計上に努められたい。

対応 当初予算に計上する事業は、予算要求時に内容を精査し、事業費の増額補正等を行わないよう努める。年度途中で必要となる事業は、その必要性、緊急性を検討し、補正予算計上の判断をする。

- DMO（観光地域づくり）推進に当たっては、目的達成に向け、村民理解を得られるような組織体制を構築されたい。

対応 現在、観光地域づくりの重要な役割を担う観光協会に対して現状分析・課題抽出・課題解決策について検討してもらっている。今後、その答申内容も踏まえて、組織体制づくりを進めていく。

民生文教常任委員会関係

審査意見(9月)に

- 新生児の聴覚検査料の全額国費負担について、交付税措置もあることから、早急に制度を確立されたい。

対応 当該検査の実施率が高いことを考慮し、新年度の予算編成で制度化の検討をする。

- 再三審査意見を上げているが、可決前に補正予算を執行することのないよう、当初予算の段階から慎重な予算要求をされたい。

対応 予算計上をした上で計画的に事業を執行していく。
なお、災害など緊急を要する事案もあり得ることはご理解いただきたい。

- 今年度延期された通学合宿の実施方法を精査し、確実な実施体制を確立されたい。

対応 10月に実施した状況を踏まえ、次年度に向けて確実な実施体制で運営できるように、早期に関係者と打ち合わせを行い実施する。

- 放課後子ども教室での学習支援については、全児童への公平性を保たれたい。

対応 今年度は試行として、放課後子ども教室利用者を対象とした算数教室と英会話教室を学習支援の一環として実施している。今後、放課後子ども教室利用者以外に参加を希望する児童への学習支援の実施方法について検討していく。



- ⑤ 議会だよりモニター制度を検討し、議会だよりに対する意見の募集を図りたい。
 - ④ 本会議での常任委員会審査の報告は、結果だけでなく、審議の過程も報告できるようにしていきたい。
 - ③ 審査意見で村長が検討を約束した課題の状況を確認します。
 - ② 議員力向上を目指し、長野県町村議会議長会事務局の職員を講師に、研修会を開催する予定です。
 - ① 村内の各種団体(住民)と懇談会を行う予定です。
- 12月6日、議会改革検討委員会を開会しました。
検討項目は次のとおりです。

議会改革検討委員会

議会を傍聴してみませんか

紙面では伝わらない議会を体感してみませんか。
実際の議会を見たり、聞いたりすることで、村議会の活動を身近に感じることが出来ます。
議会当日、直接議場(役場2階)にお越しください。
不明な点は、議会事務局までお問い合わせください。

消費者の会

一般質問を傍聴しての感想

- 初めて傍聴した。一部しか聞けなかったが、全部聞きたいと思った。
- 呼びかけ方を工夫して、多くの人に傍聴してもらいたい。
- ふう太ネットの「明日の予定」の音声だけでは誰が質問するのかわからないので、名前も言ってほしい。
- 村長の答弁が傍聴席までよく聞こえなかった。もっとはっきりと話してもらいたい。
- 村の情勢を聞きたいので、議員に報告会などを開いてもらいたい。

樋口勝豊議員が一身上の都合により辞職願を提出し、平成29年12月31日付で許可されました。
(現議員数9人)